

長大多第24号

平成27年6月1日

各関係機関の長 殿

長崎大学多文化社会学部長 佐久間 正

長崎大学多文化社会学部戦略職員（コーチングフェロー(英語)）
の募集（社会科学・人文学分野）について

謹啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、本学では、多文化社会学部の戦略職員として、下記の要領により、コーチングフェロー(英語)を募集することになりました。

ついては、貴機関の職員への御周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、本学では、男女共同参画を推進しています。女性の方の積極的な応募を歓迎します。

敬白

記

1 コーチングフェロー(英語)の役割

コーチングフェロー(英語)とは、教員と連携して、英語教育関連の業務を中心に教育、生活面でのサポーター的な存在として学生を指導することを主たる業務とする職員であり、職種は教育職員とも事務職員とも異なる戦略職員となります。副学部長(学務担当)の直轄下に配置され、コーディネーターを務める2名の教員(助教)の下で業務を遂行します。また、専門教育科目及び教養教育科目に対する補助業務も前提となっています。さらに、経歴に応じて、留学、フィールドワーク及び海外実習のコーディネートなども分担していただきます。

2 多文化社会学部のコンセプト

長崎大学は、人文社会系教育研究領域を新たに導入することによって、総合大学としての基盤を強化し、文系グローバル人材育成という社会の強い要請に応えるために、新たに多文化社会学部を平成26年度に開設しました。

グローバル化が展開する現在、どのような社会も単一の言語と文化を共有する人々のみによって組織し維持することはできなくなっています。国際的な場のみならず、国内の職場、地域、学校等の場においても、社会的、言語的、文化的に異なる背景をもった人々の共生は日常化しつつあり、共通のルールや基準、価値、制度が模索され、それらを踏まえた適切な対応が求められています。

本学部は、このような社会を「多文化社会」と定義し、“多文化社会学”という新しい教育研究領域を創生し、グローバル化時代を生き抜くための知を探求するとともに、英語を含む高度の言語能力や主体的学習力の涵養に向けた新しい教育を強力に遂行しています。また、語学トレーニングと大学での学びに向けた思考トレーニング系科目以外の講義科目を1年次後期からスタートさせる準秋入学制の導入や、新しい人事システムとガバナンスの導入など新しい在り方の学部を実現することで、本学のグローバル人材育成のための学士教育システム改革を先導しています。

以上の多文化社会学部の理念と教育方針に賛同し、本学部の教育研究に常勤の戦略職員として参画して下さる方を広く求めています。

3 教育コース

グローバル化は、俯瞰的に見れば経済構造の変容に起因する社会科学的現象ですが、個々の場面においては言語や価値といった人文科学的現象が前景化します。グローバル化時代の多文化社会学を構想するためには、社会科学と人文科学を、社会的、言語的、文化的な「多様性」という視点から再編成することが不可欠となります。

この点を踏まえて、本学部は、以下の4つのコースを設定しています。

(1) グローバル社会コース

グローバル化する社会の中で、複数の文化を横断する形で形成されていく政治、経済、社会のシステムについて教育研究します。コースの専門科目の講義はすべて英語で行います。

(2) 社会動態コース

グローバル化する21世紀におけるアジアやアフリカをフィールドとし、多文化状況の最前線について教育研究します。英語及び中国語による講義を複数開講します。

(3) 共生文化コース

グローバル化時代において共生的な思想と文化を築いていくための基盤となる人文学的知を教育研究します。高等学校教員免許状(英語)の取得が可能です。

(4) オランダ特別コース

長崎の歴史的固有性を踏まえ、オランダと日本の交流史を軸にして、近世から現代までの世界を俯瞰する知を身に付けます。

学生たちはこれらのコースのうち1つを中心に学び、さらに留学、フィールドワークを通して、出来事の現場において知り、学び、行動する力を身に付けていきます。講義においては、外国語を用いた授業を多数導入することで、留学やフィールド、そして卒業後にグローバルな現場で活躍するためのコミュニケーション的基盤を養成します。

4 公募分野

社会科学・人文学分野全般

社会科学・人文学のうち本学部の4コースいずれかに関連した分野。ただし、主たる業務に学生の留学に向けた英語のトレーニングが含まれるため、英語圏の言語、文化、社会に関する研究実績を有している方を想定しています。

5 公募職種

コーチングフェロー（戦略職員、研究・教育補助者相当） 1名

6 勤務形態

常勤職員（任期付き）

フレックスタイム制

任期：平成27年10月1日～平成30年3月31日

7 給与要件

年俸制（380万円程度）。他に住居手当、通勤手当等を支給。

8 応募要件

(1) 原則として博士前期課程（修士課程を含む）修了以上。又は、それに相当する経歴・業績を専門分野において有していること。学位取得見込みの者にあつては、取得予定時期についての説明と学位論文の指導主査による証明を添付すること。

- (2) 英語圏又はオランダ語圏の大学への合計6ヶ月以上の正規留学経験があること（ここでの英語圏とは、英語を公用語とする国を意味します）。
- (3) TOEFL 又は IELTS の高スコア（TOEFL PBT: 575 点以上, iBT: 89 点以上, IELTS: 6.5 以上, 又はこれらに相当する試験のスコア）を有し, これらの試験準備指導を行うことができること。
- (4) 社会科学・人文学分野に関して少なくとも1編の研究業績（学位論文を含む。未公開でも可）を有することが望ましい。
- (5) 英語の授業経験（高校以上, 非常勤可）や大学における TA などの経験を半年以上有することが望ましい。

9 就任予定日

平成27年10月1日（応相談）

10 提出書類

それぞれ正本1通, 写し1通を提出してください。様式があるものについては下記 URL からダウンロードして使用してください。

- (1) 履歴書（様式1）
- (2) 業績目録（様式2）
- (3) 著書, 学術論文等の別刷・・・・・・・・主要なもの5編以内（コピー可）
- (4) 英語能力を証するスコアの写し
- (5) 教育に関する抱負（様式3）・・・・・・・・各2,000字程度
- (6) 推薦状又は所見を伺える方の氏名, 連絡先（様式任意）・・・・・・・・2名以内

11 応募締切日

平成27年7月3日（金）17時必着

12 留意事項

- (1) 応募書類は, 原則として返却しません。
- (2) 選考過程において, 教育に関する面接等のために御来学いただくことを予定しております。その際の交通費は, 自己負担をお願いします。
- (3) 選考中に他大学等の教員等の候補者となることを御承諾された場合には, 文書で学部長宛御連絡くださるようお願いいたします。

13 提出先

〒852-8521 長崎市文教町1-14
長崎大学多文化社会学部総務班 宛

※ 提出書類は, 封筒の表に「多文化社会学部コーチングフェロー(英語)応募書類在中」と朱書きの上, 必ず書留便により送付してください。

14 様式ダウンロード用 URL

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/about/info/career/kyoin/index.html>

15 本件に関する問合せ先

長崎大学多文化社会学部総務班
TEL:095-819-2934 E-mail : hss_soumu@ml.nagasaki-u.ac.jp

記載上の注意事項

1 履歴書（様式1）

- (1) 「生年月日（年齢）」の欄の年齢には、現時点における満年齢を記入してください。
- (2) 「国籍」の欄には、当該職員が外国籍である場合にのみ国名を記入してください。
- (3) 「学歴」の欄について
 - ① 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴（大学の別科及び専攻科を含む。）を有する場合、すべての学歴（授与された学位及び称号を含む。）を記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。
 - ② 学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。
 - ③ 教員等の資格についても記入してください。この場合、登録番号等も併記してください。外国における資格にあつては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
 - ④ 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
 - ⑤ 外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。
- (4) 「職歴」の欄について
 - ① すべての職歴（自営業、主婦、無職等を含む。）を記入するとともに、職名、地位等についても明記してください。
 - ② 各職歴について在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入してください。
 - ③ 研究者としての外国の大学や研究機関等への赴任歴についても記入してください。
 - ④ 大学教員の職歴については、主な担当授業科目を併記してください。
- (5) 「学会及び社会における活動等」の欄について
 - ① 「現在所属している学会」には、現時点において所属する学会の名称を記入してください。役員等に就いている場合は、役職名を記入してください。
 - ② 学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。
 - ③ 教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。
- (6) 「賞罰」の欄には、学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。
- (7) 「職務の状況」の欄について
 - ① 「現在の職務の状況」
 - ア 現時点における職務の状況について記入してください。
 - イ 「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」、「准教授」等の職位を記入してください。大学以外の職に従事している場合は、「取締役」、「理事」等の職名を記入してください。職名が無い場合は「－」を記入してください。
 - ウ 勤務状況については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。大学以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。
- (8) その他
 - ① 6か月以内に撮影した写真を貼付してください。
 - ② 連絡先には、電話番号及びメールアドレスを明記してください。

2 業績目録(様式2)

- (1) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。
- (2) 「著書、学術論文等の名称」の欄について
 - ① 研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順(過去→現在)に通し番号を付して記入してください。
 - ② 著書については、書名を記入してください。
 - ③ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。
 - ④ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。
 - ⑤ 査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。
- (3) 「単著・共著」の欄には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。
- (4) 「発行又は発表の年月」の欄には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。
- (5) 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の欄について
 - ① 著書については、発行所を記入してください。
 - ② 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。
 - ③ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。
- (6) 「概要」の欄について
 - ① 当該著書等の概要を200字程度で記入してください。
 - ② 当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入するとともに、本人の氏名(下線を付すこと)を含め著作者全員の氏名(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名)を当該著書等に記載された順に記入してください。また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。

3 学術論文等の別刷

- (1) 学術論文の別刷について主要なもの5編以内(コピー可)を提出してください。著書については、表紙と分担部分のコピーでも差し支えありません。
- (2) 未印刷の学術論文等については、その原稿又はそのコピーに掲載受理の承諾書を添付してください。
- (3) 別刷は、業績目録(様式2)の番号を別刷に記載の上、順番に並べて提出してください。

4 英語能力を称するスコアの写し

- (1) TOEFL 又は IELTS の高スコア(TOEFL PBT: 575 点以上, IBT: 89 点以上, IELTS: 6.5 以上, 又はこれらに相当する試験のスコア)を有することを証明する書類の写しを添付してください。

5 教育に関する抱負(様式3)

- (1) 教育について、それぞれ抱負を2,000字程度にまとめて記入してください。

6 推薦状又は所見を伺える方の氏名、連絡先(様式任意)

- (1) 所見を伺える方を御紹介くださる場合は、応募者について忌憚のない御意見を伺える方(2名以内)を記載してください。